

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月			
平成15年度	事業コード	16110	電話	042(769)8202
担当部課名	企画部	文化国際	課	
事務事業名	施設管理運営費（南市民ホール）			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	彩りのある市民文化を創造します	事業開始年度
基本施策名	第1節	多彩な市民文化の振興	12年度
施策名	第1施策	豊かな市民文化の創造	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市民文化の向上及び振興を図るため、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供や市民文化活動の支援の場である南市民ホールが、利用者に最良の状態で使用できるよう施設の維持管理と運営に努める。	施設利用者（入場者含む）
	対象数 34,800
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
南市民ホールの管理運営を（財）相模原市民文化財団へ委託した。 （内訳）	
<ul style="list-style-type: none"> 施設賠償責任保険料 57,550円 施設管理運営委託料 713,850円 備品購入費 42,652 	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移（年度）				
				12	13	14	15	16
	年間施設利用日数による利用率	利用日数 / 利用可能日数（×100）	施設利用可能日数に対する施設の利用日数の率を求め、当該施設が年間どの程度利用されているかを表す。	65	69	70	71	72
	年間施設利用者数による利用率	利用者数 / 平成12年度利用者数（×100）	平成12年度の施設利用者数を100とした場合の各年度の利用者数の率を求め、利用者実績を比較する。	100	92	92	97	93

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算（見込み）
事業費	決算（予算）額	11,488	11,461	714	347	347
	人員・時間数	1人・（15H）	1人・（15H）	1人・（15H）	1人・（15H）	1人・（15H）
	人件費	63	63	63	63	63
	その他経費					
	合計	11,551	11,524	777	410	410
特定財源						
対象数		37,733	34,822	34,800	36,700	35,000
対象の単位あたり経費		0.3	0.3	0.0	0.0	0.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	施設の適切な維持管理と効果的な運営を行っているが、より多くの市民等に施設を利用してもらうため、多様な利用ニーズに的確かつ迅速に応えるよう努めていく。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある (財)市民文化財団に委託することで、専門的な視点での管理運営が可能となり、市民に身近な施設として、文化活動の場、優れた芸術鑑賞の場が提供できる。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	利用者に最良の状態での施設を使用してもらうことが可能である。
(4)効率性 評価 B ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 施設を最良の状態で使用できるよう、適切な維持管理と運営が図られている。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	施設を利用する者、これから利用しようとする者の総に対して、文化活動の場、優れた芸術鑑賞の場を提供している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 平成14年度からの利用料金制度の導入に伴い、施設利用者のより一層の利便性の向上を図り、もって施設の利用向上に努める。	手段	利用料金制度の導入により、施設の管理運営に要する経費と利用料金収入との差を委託料として支出することになっている。今後も施設利用の向上に努め料金の収入増を図ることにより、委託料の削減を図る。
		削減額	367 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
	今後の進め方	横浜市や横須賀市は利用料金制度を導入することで、事務の効率化・利用者サービスの向上・施設の活性化につなげている。 両市の主なホールの利用率は横浜市71%、横須賀市73.4%であり、本市の施設利用率は、他市と比較しても同程度である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	市民の多様な利用ニーズに応えるべく、施設の適切な維持管理と効果的な運営を行っているが、利用料金制度の導入により、管理受託者は自主的な経営努力を発揮しやすくなることから、これまで以上に施設利用者の実態に応じた柔軟な対応や利便性の向上を図り、これにより施設の利用向上等に努めていく。なお、平成13年9月に「杜のホールはしもと」が開館したことから、(財)市民文化財団が管理運営する施設は4館となり、それぞれの施設の特性に応じた利用が図られている。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

廃止を含め、ホールのあり方について検討すること
